



ミスからの成長

イグスティ Ayu アグング ビンタン グ プトリ プスピタニング ティアス
IGUSTI AYU AGUNG BINTANG PUTRI PUSPITANING TYAS

私は、小さい頃から日本のアニメとコスプレが大好きでした。日に日に、日本へ行きたいと考えるようになり、日本語と日本の技術が学べる技能実習生への道を選び、昨年4月にやっと日本へ来ることができました。

私は、会社で製造された部品の検査をしています。会社で教えてもらう全部が新鮮で毎日楽しくてなりません。私は、日本人から「長いさん」と呼ばれています。私の名前が長いし、呼びにくいからです。私は、この日本っぽい名前が大好きです。この調子で馴染んでいけば3年間の実習はそんなに難しくないと思うようになっていました。

ある日の朝、工場はいつもと空気が違い、「何かあったのかな?」と思いました。夕方全体会議が開かれ、実習生も参加しました。会議で、お客様に不良品が納品されたと説明がありました。説明を聞きながら、私の頭は真っ白になりました。私が合格箱に入れた部品に間違いなかったからです。

私は、すぐに指導員さんに「私の検査した部品です」と言いに行きました。指導員さんは、「長いさん、これから注意すればいいから」と、検査のポイントを丁寧に教えてくれました。私は頑張らなきゃと思う反面、「楽しいと浮かれていたからミスをした」とか、「叱られる前に責任を取って帰国すべきか」とか、「ドラえも

んがミスをする前の時間に連れ戻してくれないか」とかばかり考え、何も手につかなくなりました。

会議から3日後、検査室では照明器具やチェックリストなどが更新されて検査体制は厳しくなりました。社長が検査室で最終チェックをしたあと私の方に歩いて来ました。叱られる！私は覚悟を決めて立ち上がりました。

「長いさん、元気出して！今回のことは長いさんのせいじゃないよ。見逃した会社の責任だよ」と言いました。「ミスがあったら、どうやって防ぐか会社全体で取り組んで成長していくんだよ。それが仕事だよ」と言うと、私の検査をした部品を手に取り、「この小さい部品はね、日本の一流メーカーの大きい機械に使われる重要な部品なんだよ。その機械はね、日本だけじゃなくて、いろんな国で使われるんだよ。長いさん、インドネシアでも使われているんだよ」と教えてくれました。自分の検査した部品が、日本やインドネシアでも活躍すると思うと不思議な力が湧いて来ました。

一人のミスがあっても会社全体で改善して成長する！私の会社はすごいです。そしてこれが日本の製品が良い理由だと思いました。私は、成長するために会社と一緒に頑張っていこうと思いました。その日から、また楽しく毎日を過ごせるようになりました。

受賞の喜び



国 籍 インドネシア
職 種 機械検査
実習実施者 株式会社桐谷鉄工
監理団体 エース事業協同組合

イグスティ アユ アカガ ビンタング トリ マスビニング ティアス

日本語作文コンクールで最優秀賞を受賞させて頂き、ありがとうございました。
最初に、受賞を聞いたときは「本当ですか!？」と信じられませんでした。受賞通知を見た時は、本当に嬉しかったです。一番に「みなさん、ありがとう」と思いました。私の頭には、インドネシアでいつも見守ってくれている家族、たくさんの事を教えてくれる会社の皆さん、私にパワーと勇気をくれる組合の先生、笑顔がたくさんくれる友達の顔が次々と浮かびました。みなさんに支えられて頑張ってきた私は、みなさんのおかげで受賞できたと心から感謝しています。この気持ちを忘れず、これからも自分を成長させるために実習や日本語の勉強を頑張ります！
皆様、ありがとうございました。

指導員のことば

アユさん、最優秀賞受賞おめでとうございます。入国してわずか1年4か月という短い期間での名誉ある受賞に、受入れ会社である私たちもとても嬉しく誇りに感じております。

どんな時も笑顔で楽しみながら頑張る姿をずっと見てきましたが、チャレンジしたいと言う熱意と努力は彼女の才能だと思っています。そして、その姿は私をはじめ周りの人にも良い影響を与えてくれています。

これからも、更なる成長に期待と応援を寄せつつ共に頑張ってください。

株式会社桐谷鉄工 代表取締役会長 桐谷 泰山